

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	子どもサポートひろばつむぎ		公表日 令和 8 年 2 月 24 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動スペースは十分確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基準人員以上の職員を配置し、子どもと1対1で関わる事が出来る環境を整えている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		活動内容によって、部屋を分けています。室内については、段差解消しています。視覚支援も配慮しています。	階段などのバリアフリー化は出来ないで、車いすの利用児の受け入れは難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		整理整頓を心がけています。活動に合わせて使用する部屋を変えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		特別な配慮が発揚な場合は、別の部屋を使うようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	気になる点については、職員間で話し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	家族支援によって、保護者の意向を把握する機会を設けています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		終礼や職員会議で意見を把握する機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		現在、第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		これから、職員の支援力向上のための研修を増やしたいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムについては、保護者へ周知し、HPでも公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		契約時、更新時にアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		計画を作成するときには、児童発達支援管理者以外の職員も会議に参加し、意見を取り入れるようにしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画や一日の活動、予定、子どもの様子なども職員間で共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		連絡帳や支援記録を日々、作成し、確認出来るようにしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		定期的にあセスメントを行い、保護者の意向や本人の日々の様子から、支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	職員会議等で、職員でアイデアを出し合い、行事や活動の内容の立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		戸外活動や季節の製作活動など、日々の活動と合わせて、特別活動を盛り込み、固定化しないように工夫しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		子どもの発達段階に応じて、個に合わせた課題を行う個別活動と、集団活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	その日の支援内容や役割分担などについて、職員間で共有・連携しています。	送迎の都合上、打ち合わせ時間は、支援開始前に限らず、前日など適宜行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼を行い、振り返りなど共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	支援記録を毎日行っています。また連絡帳にて保護者にも共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1回、保護者と面談し、モニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理者が子どもの様子を把握したり、子どもと関わる機会が多い職員に様子を聞いて参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	必要に応じて、関係機関と連携し、話し合いの場に参加しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	幼稚園に訪問し、情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4		現在、情報共有が必要な事例がありませんでしたが、今後、必要な場合は連携していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			6	現在、必要な事例がありませんでしたが、必要に応じて、児童発達支援センターと連携していきたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		保育園等の交流する機会はありません。地域の他児との交流については、地区の行事に参加しています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			送迎時や連絡帳、LINE等で状況をお伝えし、共通理解に努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		家族支援の際に必要な情報をお伝えしています。また地域で行われる研修会などの情報提供も行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約時に保護者の意向を伺い、それに基づいた支援計画を作成しています。半年に1回、モニタリングもを行い、以降を確認する機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		保護者の方と面談して、説明を行い、同意していただいたうえで署名を頂いています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的に家族支援の時間を設け、相談に応じています。それ以外でも、必要に応じ、電話、ライン、送迎時等、相談を受けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者やきょうだいが交流する場として、夏祭りを開催しています。	現在、父母の会はありません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		電話やライン、送迎時などで迅速に対応出来る環境を整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		月1回おたよりを発行しています。インスタにより活動などについても発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報が記載されている書類は、鍵付きの書庫に保管しています。廃棄書類については、シュレッダーを使用し、破棄しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		必要に応じて、視覚支援を用いています。ラインも利用して、連絡ができるようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		現在、地域住民を招待するイベントは開催していません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルを策定しています。事業所の玄関とHPにて、いつでも閲覧できるようにしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPの策定を行っています。避難訓練については、年2回(火災・地震)を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時のアセスメントで確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	医師の指示書ではないが、アセスメント時にお聞きして、アレルギーのあるものについては、提供しないように配慮しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に基づいて、研修・訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	非常時の避難場所については、契約時に文書を配布し、保護者に周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有・再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止の研修を行っています。また月1回、全職員対象に虐待防止のチェックを行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		契約時に説明を行っています。		